

ます。

また科学技術の分野での研究開発において、だれが、どこで、何を研究しているのかの情報を up to date に知らせる機能をもつクリアリングハウスの性格も要求されてくると思われます。その他、増大する文献を収容する書庫のスペースと関連してマイクロフィルム化の問題、翻訳サービス、入手困難な文献の複写による収集、などが今後および将来の課題として考えられます。

これらの課題は、現在の土木図書館の性格、予算、担当職員の数などからみて一朝一夕に解決することは困難ですので、とりあえず実行可能な分野のみ実行に移す予

定です。そのため本年度は、内外の二次資料を整備してリファレンスコーナーを閲覧室の一面に設置する、入館利用者に対してリファレンスの記録をとる。他の図書館との連携強化、他の関連機関の所蔵目録を収集する。新着図書リストを閲覧室に置く、などについて行なう予定です。もちろん本来の目的である図書の充実には一層力を入れ、より良い専門図書館を目指して運営に当りますので、今後とも会員各位のご指導、ご支援をお願いいたします。

【園田桂一・記】

海外ニュース

アメリカの揚水発電

Proc. ASCE, Vol. 94, No. PO 1, pp. 85-104, May. 1968

アメリカにおいてもピーク発電のための揚水発電所がさかんに計画、建設されている。

1961年までに建設された揚水発電所は4ヵ所にすぎず、いずれも小規模で、最大のものでも T.V.A. の Hiwassee の 59.5 MW であった。

以来、過去7年間に主なもので6ヵ所の揚水発電所が完成し、運転されている。その規模は 132 MW~800 MW と大きくなり、合計で 2160 MW に達している。

現在建設中の主なものは7ヵ所あり、その規模は 160 MW~610 MW、合計 2669 MW である。

建設を申請中のものは 10ヵ所、その規模は 122 MW~2000 MW、合計 7488 MW に達する。

これら既設、計画中の揚水発電所の総出力は 12000 MW 以上になる。

小まわりのきかない大規模な原子力、火力発電所が建設されるにつれ、その余剰時の電力を利用し、揚水、貯水しピーク需要に備える揚水発電所の建設は今後も続く傾向にある。

アメリカの主な揚水発電所

計 画 名 発 電 所 名	州	出 力 (MW)
運 転 中 の も の		
Lewiston	New York	240
Taum Sauk	Missouri	350
Smith Mountain	Virginia	132
Yards Creek	New Jersey	338
Cabin Creek	Colorado	300
Muddy Run	Pennsylvania	800
建 設 中 の も の		
Oroville-Tbermalito	California	375
Salina	Oklahoma	520
Jocassee	South Carolina	610
Carters	Georgia	250
San Luis	California	424
Kaysinger Bluff	Missouri	160
Kinzua	Pennsylvania	330
建 設 申 請 中 の も の		
Rowlesburg	West Virginia	525
Cornwall	New York	2000
Northfield Mtn.	Massachusetts	1000
Blue Ridge	Virginia	900
Laurens Shoals	Georgia	216
Montezuma	Arizona	500
Longwood	New Jersey	122
Castaic	California	1200
Blair Mountain	Colorado	525
Merrill Lake	Washington	500
総 計		12317

(白砂 孝夫)

土木図書館蔵書目録 第1集・第2集

先に創立 50 周年記念事業の一環として建設されました土木図書館の蔵書目録 第1集・第2集 が土木図書館運営委員会の協力を得て刊行されておりますのでご利用下さい。

内 容：図書館規程/同利用規定/分類記号/和書/洋書/国際会議論文集/雑誌/土木図書館フィルムライブラリー
 体 裁：第1集 A5判 タイプ印刷 236 ページ 第2集 タイプ印刷 71 ページ
 定 価： 700 円 会員特価：600 円 200 円 会員特価：150 円
 送 料： 100 円 50 円